

# つながり

中3の 初のテストに  
動搖す 計画的に  
勉強すべし

菊陽町立菊陽中学校  
進路だより NO.9  
令和7年6月3日(火)  
文責:片山慎二

## Q4 公立入試の前期と後期の違い は何ですか?

### 【前期(特色)選抜】

主に普通科以外の科がある公立高校で2月初旬に実施されます(普通科は理数コース、英語コース、美術コース、体育コースで実施)。

選抜方法として作文、調査書、面接、実技や独自検査(各高校が作成)を基に選抜され、内定結果が通知されます。

9月くらいに各高校は「自校が重視する観点、募集人員、検査内容等」を公表します。ちなみに、募集人員は最大で定員の70%以内です。



### 【後期(一般)選抜】

3月初旬に、5教科を2日間に分けて行います。出題・作成は熊本県教育委員会です。各高校は、中学校からの調査書と学力検査の成績を用いて合否を決めます。具体的な方法は、中2の1月にシミュレーションをしました。二次募集などを除けば、最後の入試です。

## 【次年度から公立入試が変わります。】

現中学2年生が受検をするとき、公立入試は前期後期が撤廃され、3月初旬に行われる入試に統一されます。仕組みは後日説明します。

## Q5 どのくらいの点数をとれば ○○高校に行けますか。

一番気になることがらではないかと思いま  
す。しかし、現段階では評定も出ていません  
し、共通テストも受けていませんので、

今の段階ではハッキリしたことを述べるこ  
とはできません。

そして今の時期は特に、合格可能な範囲  
の高校から探すよりも、みんなが将来、  
何をしたいのかを見据えた上で、進学先を  
考えたほうがいいでしょう。「点数で選ぶよ  
り、自分の夢(なりたい自分)から逆算して  
高校を決める」ことを心がけてほしいと  
思います。

行きたい高校へ行く  
ために努力をしたり、  
自分の夢を拓くために  
努力できる1年にして  
ほしいと思います。



次週の「つながり」でも「高校を選ぶ際  
のポイント」として紹介していきます。

## Q6 親も一緒に子どもと先生とお話 しができる時間がほしいです。

初めてのお子さんであったり、熊本県の  
入試の仕組みなど、いろいろ不安な点もお  
ありでしょう。そういう点を少しでも和ら  
げるために、進路通信を随时発行してい  
きます。

また、7月に進路学習会、10月に卒業  
生の話を聞く会と高校説明会を予定してい  
ますのでご参加下さい。

親子との三者面談は、公式には、夏休み  
の第1回三者面談、11月末の第2回三者  
面談の2回を予定していますが、いずれも  
20分程度と時間が限られています。

それ以外にも進路面でお話になりたいこ  
と等ありましたら、遠慮なく担任、もしく  
は3年部職員へおたずね下さい。

※返信欄(進路に関する質問や、感想等ありましたらお書き下さい。)

生徒氏名 ( )  
保護者氏名 ( )